

まちの将来を

設計する「総合計画」

合併後初のまちづくりの総合的、基本的指針となる「第8次鳥取市総合計画」の策定を進めています。これは、平成18年度から向こう10年間のまちづくりの方向性を示すものです。

問い合わせ先

市役所本庁舎総合計画策定チーム
TEL 0857-20-331688

まちの将来の姿を明らかに

総合計画は、まちの将来の姿を示し、それを計画的に実現していくための基本的な方向を明らかにするものです。本市は、昭和47年に「第1次鳥取市総合開発計画」を策定して以来、それぞれの時代の課題に対応しながら、地域の特性を活かした魅力あるまちづくりを進めてきました。

21世紀を展望した戦略的計画

この総合計画は、9市町村による合併協議のなかで、合併後の鳥取市の速やかな一体性の確立、住民の福祉の向上、均衡ある発展などをめざして策定された「新市まちづくり計画」の内容を継承しています。その上で、21世紀を展望し、本市が将来にわたって持続的に発展していくための新たな政策、「選択と集中」による戦略的な施策の展開などを盛り込んだ計画となります。

市民のみなさんと

思いや夢を共有

現在、鳥取市には約20万1千人の市民が住んでいます。みなさんが住むこのまちはどんなまちでしょうか。そして、どんなまちになつてほしいと思われまつか。総合計画の策定の基本となるのは、まさに「自分たちのまちをどのように感じ、それがどうなつてほしいのか」という、みなさんの思いや夢です。

この総合計画では、みなさんの思いや夢を、市全体で共有できる思いや夢へとつなげ、さらに具体的な形にしていくことが大切です。

「協働」を基本に策定

計画の策定にあたっては、8次総市民ワーキングなど、さまざまな市民参画事業を展開し、市民のみなさんや団体などの意見・提言を反映させながら取り組んでいます。そして、多くの市民のみなさんと問題意識を共有し、市民と行政がともにまちづくりに取り組む「協働」を基本に進めています。